

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) **公開実用新案公報 (U)**

(11)実用新案出願公開番号

実開平4-100235

(43)公開日 平成4年(1992)8月31日

(51)Int.Cl.⁵

C 09 J 7/02

識別記号

序内整理番号

F I

技術表示箇所

J J E

6770-4 J

審査請求 未請求 請求項の数1(全3頁)

(21)出願番号

実開平3-18172

(22)出願日

平成3年(1991)2月7日

(71)出願人 000110321

トヨタ車体株式会社

愛知県刈谷市一里山町金山100番地

(72)考案者 星 紀六策

愛知県刈谷市一里山町金山100番地 トヨ

タ車体株式会社内

(72)考案者 蒲池 久隆

愛知県刈谷市一里山町金山100番地 トヨ

タ車体株式会社内

(72)考案者 三浦 昭一

愛知県刈谷市一里山町金山100番地 トヨ

タ車体株式会社内

(74)代理人 弁理士 高橋 祥泰

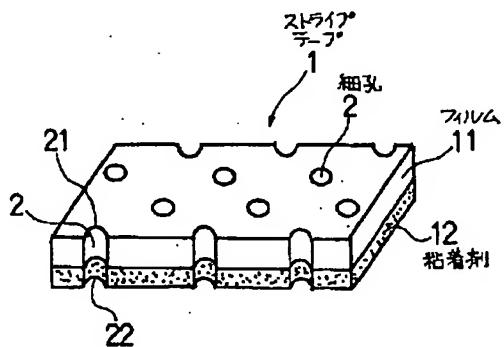
最終頁に続く

(54)【考案の名称】ストライプテープ

(57)【要約】

【目的】被着部とストライプテープとの間にエアボイドを発生させることなく、外観意匠性に優れたストライプテープを提供すること。

【構成】合成樹脂のフィルム11と粘着剤12とからなり、自動車の外板等の被着部に貼着するストライプテープ1であって、該ストライプテープ1はフィルム11と粘着剤12とを貫通する多数の細孔2を有する。細孔2の直径は、例えば0.05~0.15mmである。



1

【実用新案登録請求の範囲】

合成樹脂製のフィルムと該フィルムの裏面に設けられた粘着剤とからなる、自動車の外板等の被着部に貼着するストライプテープであつて、該ストライプテープは上記フィルムと粘着剤との両層を貫通する多数の細孔を有していることを特徴とするストライプテープ。

【図面の簡単な説明】

【図1】実施例におけるストライプテープの要部斜視図。

【図2】実施例におけるストライプテープの要部断面図。

【図3】実施例におけるストライプテープの、離型紙を貼着した状態の斜視図。

2

【図4】実施例におけるストライプテープの、離型紙とアプリケーションを設けた状態の側面図。

【図5】従来のストライプテープの貼着状態説明図。

【図6】従来のストライプテープにおける空気抜き時の説明図。

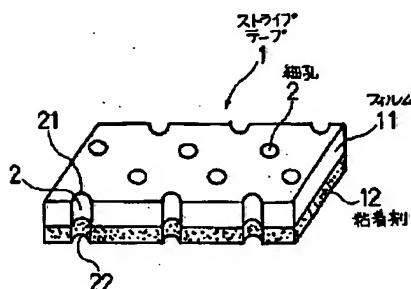
【図7】従来のストライプテープにおける空気抜き時の説明図。

【符号の説明】

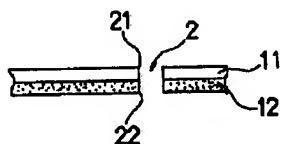
1...ストライプテープ,
11...フィルム,
12...粘着剤

2...細孔,
85...エアボイド,

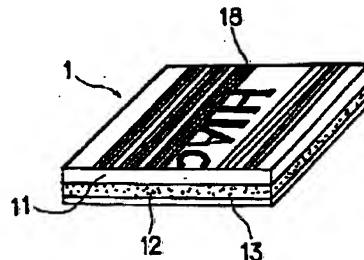
【図1】



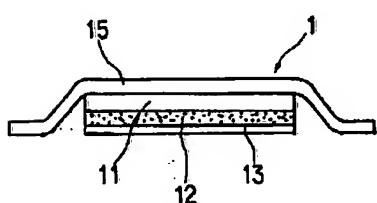
【図2】



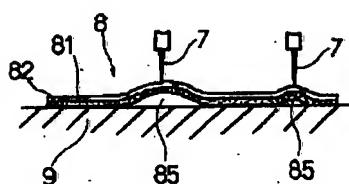
【図3】



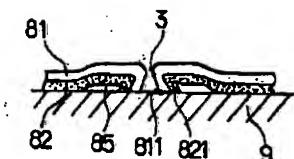
【図4】



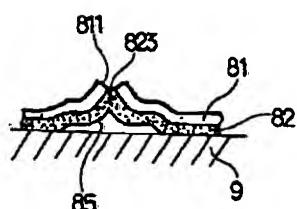
【図5】



【図6】



【図7】



フロントページの続き

(72) 考案者 濱野 光久
愛知県刈谷市一里山町金山100番地 トヨ
タ車体株式会社内